

## 第4回サイエンスカフェ

「サイエンスは、社会的インパクトを創造する—エンタープレナーとは？」

新薬の開発やアメリカでの起業に自力で成功している、アメリカ在住のスキャンボ・ファーマシューティカル社 社長久能祐子先生をお招きし、第4回サイエンスカフェを実施します。理系でありながら起業家でもある久能先生は、海外で志をもつ若者への支援も行っているらしいです。海外留学や、海外で仕事をするに関心をもっている生徒は参考となるお話を伺えると思います。

- 1 日時 10月20日（火） 16時15分～18時15分
- 3 場所 1階 多目的室
- 4 対象 1年生～6年生・保護者
- 5 講師

久能祐子氏 スキャンボ・ファーマシューティカル社社長（アメリカ在住）

\*\*\*経歴\*\*\*\*

起業家（バイオテック系）、社会起業家、研究者、会社経営者。京都大学大学院工学系研究科で工学博士号を取得。ミュンヘン工科大学での研究員生活を経て、1980年代に株式会社アールテック・ウエノを上野隆司氏と共同創業。基礎研究、開発研究、製造、承認申請に関わり、1994年には、初めてのプロストン系緑内障治療薬となる「レスキュラ点眼薬」の商品化に成功した。その後、アメリカへ拠点を移し、スキャンボ・ファーマシューティカルズ社を共同創業し初代 CEO となる。同社でも、プロストン系新薬の研究開発、会社経営に携わり、慢性特発性便秘、過敏性腸症候群治療薬「アミティーザ」の商品化に成功した。両社は、2000年代、相次いで IPO(株式公開)している。さらに、2012年には、革新的ワクチン開発を目指す VLP セラピューティクスを共同創業した。社会起業家としては、S&R 財団を設立し理事長兼 CEO を務めるほか、ジョンズホプキンス大学（医学領域）、マンスフィールド財団等の理事でもある。同氏はこれまで多数の賞を受賞し、2015年にはForbes誌の「アメリカで自力で成功を収めた女性50人」に選出されている。京都大学工学部卒、ジョージタウン大学経営学認定コース修了。